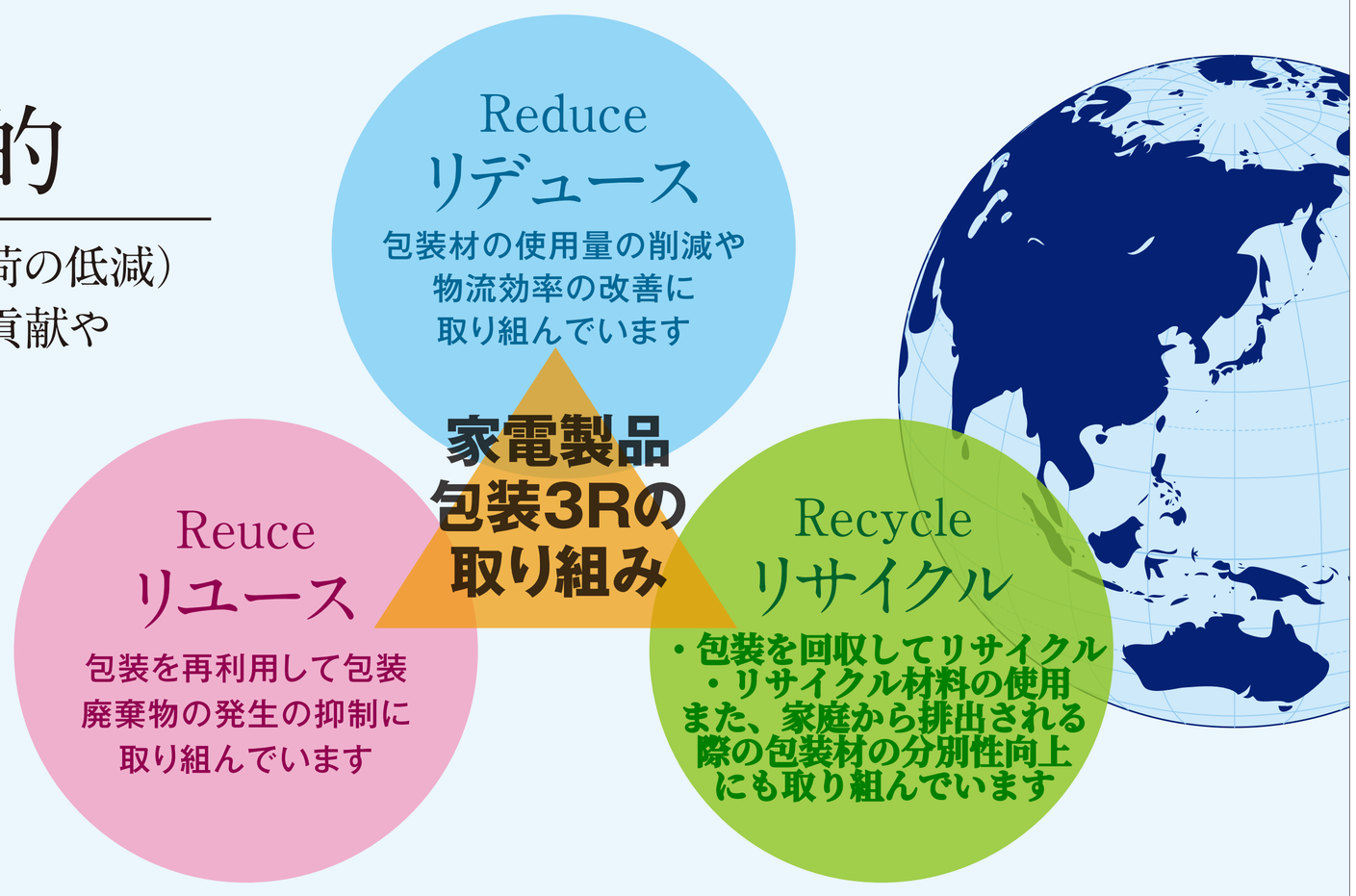
一般社団法人 日本電機工業会
包装委員会の主な取り組み

01 包装委員会の目的

家電製品の包装に関して3Rの取り組み（環境負荷の低減）など、包装の適正化を相互に協調して進め、社会貢献や消費者啓発活動を推進します。

02 歴史

1981年3月日本電機工業会・家電政策委員会の下部組織として設立されました。



最近の主な取り組み

家電製品をより大切に扱っていただくためのシンボルマークを包装箱に表示しています

各社で共通に使うことができる説明文を作成しました
シンボルマークは、1991年より運用している「環境配慮包装シンボルマーク」を活用しました
共通認識の説明文と合わせて、包装箱にシンボルマークを表示して啓発活動をしています

この箱は、製品を守るためのものです。輸送の際に多少のスレや汚れが付くことがありますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

※本マークの表示は、日本電機工業会の会員のみ使用が可能です。運用は各社判断となり、製品により異なります。

【(一社)日本電機工業会 包装委員会 参画社名・団体名(順不同) 】

シャープ(株)、ソニーグローバルマニュファクチャリング＆オペレーションズ(株)、ダイキン工業(株)、パナソニック(株)、パナソニックエンターテイメント＆コミュニケーション(株)、パナソニックホールディングス(株)、日立グローバルライフソリューションズ(株)、三菱重工サーマルシステムズ(株)、三菱電機(株)、(一社)電子情報技術産業協会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一財) 家電製品協会、オブザーバー：SBS東芝ロジスティクス(株)、ロジスティード(株)

JEMA
一般社団法人日本電機工業会